



おやごころ

発行年月日:平成23年3月1日 発行:山口県PTA連合会広報委員会

山口県PTA連合会

〒753-0072 山口市大手町2-18

山口県教育会館内

TEL: (083) 925-6778

FAX: (083) 925-3815

http://www.yamaguchipta.jp/

e-mail: info@yamaguchipta.jp

山口県児童総数 76,220人・生徒総数 37,466人
(平成22年5月現在)

6月5日(日)
県P連 定例総会(専門委員会)



6月26日(土)
PTA広報紙のつくり方研修会



7月12日(月)
家庭教育委員会研修会



2月6日(日)
広報紙コンクール表彰式

1月23日(日) 臨時総会



11月13日(土)
日本PTA 中国ブロック研究大会
鳥取県米子大会(鳥取県)

PTA研究指定校助成事業

山口県PTA連合会の1年

学校・帰りに参加もめんど

福っ子にふくむPTA活動



8月6日(金)
ドリームチャレンジャー2010in徳地
徳地青少年自然の家

「ノーケータイ」標語コンクール



8月27日(土)~28日(日)
日本PTA全国研究大会 ちば大会

9月4日(土)
県P連 第2学期定例委員会



10月6日(水)
子育て親育て研修大会

「たのしい子育てキャンペーン」
～親子で話そう! 家族のきずな・
我が家のルール～三行詩コンクール



10月29日(金)
教育懇談会



10月17日(日)
山口県PTA研修大会ひかり大会

緊急特集

子育て困っていませんか？



バブルの崩壊以降、長引く景気の低迷の中で、企業収益の減少、給料の減少、場合によってはリストラなどで経済的にお困りの方も多いと思います。

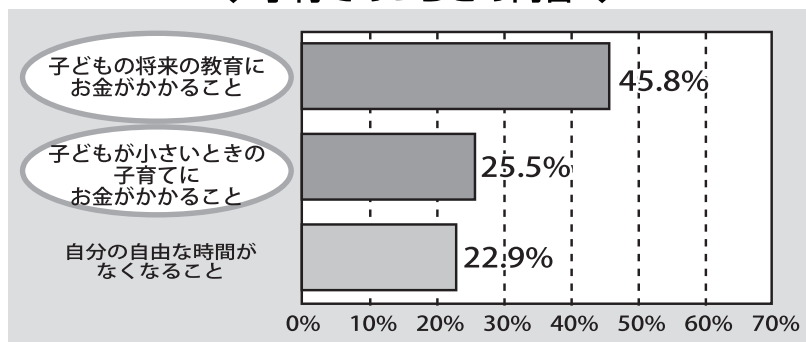
特に春は、卒業や新入学などで何かと物入りな時季でもあります。ますます心痛することになります。

今回広報委員会では、子育てに關する経済状況を知るために、県内の十三市について、生活保護の現状や、児童生徒に対する経済的な就学援助の割合について調査を行いました。

まずは、生活保護の状況について十二の市から回答が得られました。その結果を図1に表わします。人口千人当たりの生活保護対象者の比率を表す保護率は、平成二十年度から大きく増加しており、加速度的に県内の生活困窮者が増えているのがわかります。

次に、学用品費や給食費などが給付される生活保護世帯の要保護児童生徒や、これに準じた世帯に対して一定の援助を行う制度の対象である要保護対象の児童生徒数の割合について十の市から得られ

◆ 子育てのつらさの内容 ◆



(出典) 内閣府「社会意識に関する世論調査」(平成20年2月)

た回答を図2にまとめました。市によって制度の違いから十パーセントと幅があるものの全市の平均は、やはり生活保護と同様に平成二十年を境に大きく増加に転じ、今年度には二十六パーセントを超えました。現在では、およそ四人に一人以上がこの制度の対象となっていることになります。

内閣府が平成二十年に行った「社会意識に関する世論調査」

◆ 今回広報委員会調査結果 ◆

図1. 生活保護法に基づく保護の状況

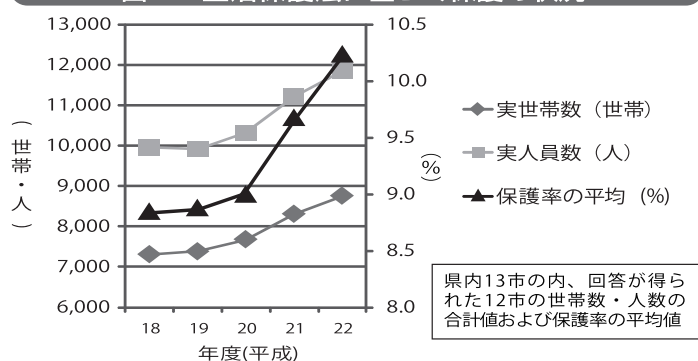
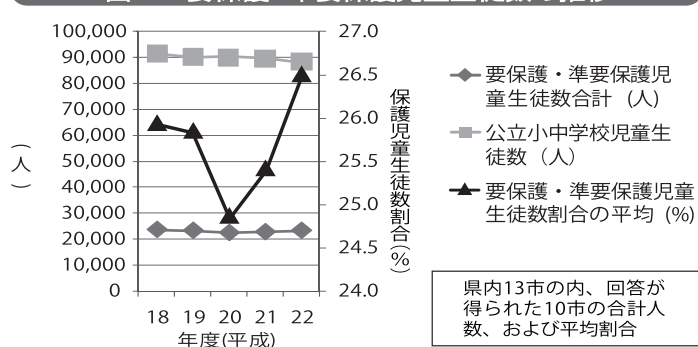


図2. 要保護・準要保護児童生徒数の推移



「調査」を見ても、「子育てのつらさの内容」について多くの方が経済的な問題をあげています。

平成二十二年度からは「子ども手当」の創設によって子育て世代に対する経済的な援助がはじまりました。この制度が今後どのような議論がなされるようになるか、現在の経済状況、特に子育て世代の厳しさは、今後しばらく続くことと思われます。

安心して子育てをするうえで、経済的な問題が大きな課題

題であることは言うまでもありません。

子どもの笑顔は、その親だけでなく地域みんなの願いです。

子育てに關して経済的に困りの方は、ぜひお住まいの市や町の教育委員会や児童社会福祉窓口へお尋ねください。

また、お問い合わせ窓口が不明な場合には、山口県PTA連合会事務局もお手伝いいたしますので、お気軽に御相談ください。

夢をはぐくむ家庭の元気

～みつめなおそう 家庭教育～

山口県PTA連合会 家庭教育委員会では、今年度6月に県教育委員会より全家庭に配布されましたリーフレット「家庭教育の指針「夢をはぐくむ家庭の元気～みつめなおそう家庭教育～」について「わが家のやくそく」アンケートを実施いたしました。

大変貴重なご意見やご感想を頂きましたので、いくつかご紹介させていただきます。



わが家のやくそく

成功例

「お風呂洗い」と「布団敷き」を当番表にして台所に貼っています。役割分担を表にして責任をもたせると自分の番がくるとしっかりやってくれています。

失敗例

「ばなしはやめよう」と決めたのに父さん脱ぎっぱなし!!
(親子で話し合って決めましたが親の方が守れていないことが多く反省しています)

意見・感想

- アンケートをきっかけに家族で話し合い、新しく「わが家のやくそく」を決めました。
- 毎日忙しく、ついつい後回しになってしまいます。
- 出来ない約束では意味がないので、子供とよく話し合い、毎日続けられるものを「やくそく」にしました。

家庭教育5つのポイント

1. 基本的な生活習慣を身につけましょう。
2. ルールを守りマナーを身につけましょう。
3. 家族のふれあいを大切にしましょう。
4. 家庭での学習習慣を身につけましょう。
5. 地域でいろいろな体験活動を楽しみましょう。

わが家のやくそく

お子様と一緒に決めてみませんか?

家庭教育をみつめなおす良いきっかけになればと願っています。



「ノーケータイ!」～必要のないケータイは持たない～

標語コンクール

携帯電話によって、出会い系サイトで被害にあったり、メールや独自の開設サイトによる誹謗中傷などで相手を傷つけ、その被害者や加害者になったりしている子どもたちがたくさんいます。携帯電話は遊び道具ではありません。必要のない携帯電話を、保護者は「持たせない」、子どもたちは「持たない」をテーマに今回、山口県PTA連合会ではなぞかけ標語の募集をしました。その結果を発表いたします。

小学生

会長賞

『メールとかけておめんをつけたかおととく、
その心は、どちらもえがおがみえません。』

坂口 礼奈 (江浦小1年)

優秀賞

『ケータイとかけてお母さんの肉ととく、その心は、どちらもいらない。』

下瀬 歩美 (西宇部小6年)

優秀賞

『ケータイとかけまして包丁とときます、その心は、使い方ひとつで人をきずつけてしまいます。』

吉浦 里 (平生小6年)

中学生

会長賞

『ケータイとかけて化粧品ととく、その心は、今の私には不要です。』

稗田 桃子 (菊川中3年)

優秀賞

『ケータイとかけて交差点ととく、その心は、立ち止まることが大切です。』

國光 真名美 (萩西中2年)

優秀賞

『ケータイとかけてお菓子屋さんとかとく、その心は、どちらも甘い誘惑がいっぱいです。』

宮内 愛理 (萩西中2年)

保護者

会長賞

『子どもの携帯電話とかけてドリップ式のコーヒーメーカーととく、
その心は、どちらもフィルターが必要でしょう』

佐久間 暢夫

優秀賞

『ケータイとかけて蜘蛛の巣ととく、その心は、ネット(巣)に罫(蜘蛛)が潜んです。』

古谷 宏子

優秀賞

『子どものインターネットとかけて里帰り出産とときます。
その心は、どちらも帰省(規制)が必要です。』

浅田 典宏



第36回

決定!! 広報紙コンクール結果発表

応募総数 **161点** 小学校 115点 中学校 46点

表彰式：2月6日



今年度は161校の応募をいただき、どれもみんな力作ばかりでした。

近年では、パソコンやデジカメ、カラープリンター、カラーコピー等の普及により「学校だより」「学級だより」がカラーでカラフルなものになっていたり、写真入りの楽しいホームページを作っていたりしていらっしゃる学校も多いと思います。そんな中で、やはり保護者として欲しい情報、たとえば他の家庭の指導方法で

あったり考え方であったり、またPTA活動の様子であったりという

PTA広報紙でなければ取り上げることができない内容が、適切な取り上げ方で掲載されているものの評価が高かったと思います。

各学校におかれましては、みんなが力を出し合って、さらに充実した楽しい広報紙とされることを祈念いたしております。各賞、受賞された学校の皆さん、おめでとうございます。

おめでとうございます

知事賞

勝山中学校
明倫小学校(長門)

教員賞

国府中学校
萩東中学校
右田中学校

大田小学校
豊浦小学校
徳山小学校

良城小学校
川上小学校(宇部)

会長賞

萩西中学校
福栄中学校
湯田中学校

山大附属山口中学校
厚東中学校
華城小学校

和田小学校 ●
小郡小学校
須恵小学校

弥富小学校
松崎小学校
厚南小学校

琴芝小学校
東岐波小学校
勝山小学校

勝間小学校(周南)

優秀賞

華西中学校
阿知須中学校
二島中学校
和田中学校 ●
長成中学校

日新中学校
桑山中学校
周陽中学校
むつみ中学校
麻里布中学校

垢田小学校
小川小学校
三井小学校
福川小学校(萩)
中関小学校

白石小学校
由宇小学校
和木小学校
藤山小学校
祖生西小学校

佐波小学校
椿西小学校
育英小学校
高水小学校
島田小学校

湯田小学校
井関小学校
修成小学校
勝間小学校(防府)
塩田小学校

優良賞 53校 努力賞 52校 ●印 デザイン賞(審査員特別賞)

審査委員：各界広報関係者・県教育委員会
県小中学校校長会・県内PTA代表者ほか

～PTAによる共済事業が可能になりました「安全互助会」～

山口県PTA連合会は、昭和54年に「山口県小中学校PTA安全会」を発足して以来、32年間にわたり学校や保護者の皆様とともに児童生徒の健全育成とPTA活動の振興を図ってきました。

平成18年度の保険業法の改正により、平成18年度から自主運営を継続することができなくなり、翌年度から保険業務を民間保険会社に委託して事業を継続し現在に至っています。

しかし、新たな共済制度の仕組みを定めた「PTA・青少年教育団体共済法」が施行されたことから、青少年の健全な育成等に資するため、PTA及び青少年教育団体が主催する活動

等における青少年等の災害について共済事業を行うことが可能となりました。

その実施団体として山口県PTA安全互助会制度の組織を法人(一般社団法人)化することにより、県内小・中学校PTA会員、児童生徒と諸活動の指導者を対象に、制度の存続、および充実を目指して事業を引き継いでいく方向で準備を進めています。

本共済制度は、相互扶助の精神によってPTA諸活動を安心できる環境で、より活発に活動をしていただくための制度です。今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

編集後記

特集とも関連しますが、日本の景気は、底をうったとか回復の兆しだとか、いろいろ言われているにもかかわらず、地方である山口県の景気は一向に上向いたという実感はありません。むしろ、平成の大合併により、いわば吸収された郡部においては、市街地中心部に比べてより一層経済活動が停滞していくような気さえします。PTAの皆さんは、働き盛りで子育て真っ盛り、各地域活動の担い手であると思います。

みんなで力をあわせて、私たちの世代で何とかして少しでも子どもたちに明るい未来を残さなくては、と思いました。

PTA会員の補償制度

個人で加入

各PTAが団体に加入

小学生・中学生総合保障制度

子どもの(24時間)
ケガ・賠償責任・育英費用
持ち物への補償(学校管理下のみ)・
熱中症・病気の補償

2011年版 「自転車保険セットプラン」
になりました。(一部プラン除く)
お子さまの自転車事故によるおケガの
補償が手厚くなります。
新年度に各学校を通じて加入者を募集します。

山口県PTA安全互助会

PTA行事の参加者(保護者・教師・児童、生徒・会員と生計を共にする同居の親族・登録されたボランティア参加者)の

ケガの補償・
賠償責任の補償

各学校のPTAを通じてご請求ください。

○制度引受け保険会社：AIU保険会社

■問い合わせ先／山口県PTA連合会 ☎(083)925-6778